

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市桂川老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

【営業日及び営業時間】月曜日～土曜日 午前8時30分～午後5時30分
【休業日】日曜日・年末年始（12月31日から1月3日）
【利用定員】1日25名
【サービス提供】
介護保険制度の主旨に基づき、桂川園基本理念である「一人ひとりの利用者の人権を尊重し、利用者の主体性と自立性を守っていく」を念頭に運営している。

2 事業実施内容

(1) 指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
【入浴】入浴又は清拭を行う。身体状況が重度な方でも特殊浴槽を使用して入浴することができる。
【排泄】排泄の自立を促すため、利用者の身体能力を最大限活かした介助を行う。
【機能訓練】利用者の心身の状況等に応じて日常生活を送るのに必要な機能の回復又はその減退を防止するための訓練を実施する。
【送迎】希望により自宅とデイサービスセンターとの間の送迎を行う。その家族などに対する相談支援、情報提供等を行う。
【若年性認知症ケア】初老期における認知症によって要介護者となった者に対して、適切にたいおうできるよう職員を配置し、主治医との連携を図り利用者又は家族等に対する相談支援、情報提供を行う。
【食事の提供】管理栄養士による栄養並びに身体状況等に応じた食事提供をしている。
【レクリエーション】感染対策を講じた環境下で、個別、小集団によるレクリエーションを工夫している。

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

【通所介護職員配置】
①管理者 1名（他の業務と兼務）
②生活相談員 2名（内1名兼務）
③介護職員 7名（常勤5名 常勤兼務1名 非常勤1名）
④看護職員 2名（非常勤2名）

・台風接近による臨時休業を行う（1日間）。

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

・厨房業務
・施設敷地の除草

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・市内中小企業に優先して発注するように努めている。
・近隣の障害者就労事業所への業務委託を行っている。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 延べ利用者数

①令和5年度実績値

| |
|-------|
| 5,499 |
|-------|

 人

②令和6年度目標値

| |
|-------|
| 6,180 |
|-------|

 人

(2) 稼働率

①令和5年度実績値

| |
|--------|
| 71.00% |
|--------|

②令和6年度目標値

| |
|--------|
| 80.00% |
|--------|

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

| | |
|--------|------------|
| 介護保険収入 | 52,394,725 |
| 利用料収入 | 4,296,585 |
| 委託料収入 | 0 |
| 補助金収入 | 1,450,113 |
| 寄付金収入 | 0 |
| 雑収入 | 184,500 |
| その他 | 107,735 |
| 収入計 | 58,433,658 |

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

| | |
|-------|------------|
| 人件費 | 48,307,060 |
| 事業費 | 9,315,264 |
| 委託費 | 3,091,421 |
| 小額修繕費 | 545,754 |
| その他 | 2,924,941 |
| 支出計 | 64,184,440 |

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

「満足度調査アンケート」
①実施期間 令和5年12月
②対象者 利用者
③調査方法 質問項目：13項目 無記名アンケート方式 5段階評価で実施

(2) 利用者満足度把握の結果

「満足度調査アンケート」結果
【回答者数】41名/64名（回答率64%）
【評価方法】5段階無記名方式
【総合評価】評価結果は概ね4以上の評価をもって、提供しているサービスに対して一定の満足を得ている。その他意見において、職員の対応（言葉使い・声掛け）やレクリエーション活動への指摘があり、改善の必要が伺えた。

(3) 意見等への主な対応状況

- ・アンケート調査でいただいた意見等については、振り合えりを行い、集計結果は職員全員で供覧した。
- ・利用者には集計結果を書面（広報誌）にて周知し、ホームページ上に掲載した。
- ・第三者委員会（第三者委員との懇談会）を昨年と同様に開催し、助言を受ける予定にしている。（7月開催予定）
- ・サービスの質の向上に向けて、必要な業務改善や職員研修を実施する。

7 その他特記事項

(1)

| |
|--|
| |
|--|

(2)

| |
|--|
| |
|--|

8 評価（指定管理者自己評価）

・令和5年度は、「個々の成長が実感できる組織づくり」を基本方針に掲げ、一昨年に大幅に改定した就業規則の遵守に努めた。また、組織管理体制（組織の構造や役割分担、意思決定のプロセス、双方向のコミュニケーション方法等）や人材確保・人材の定着・職員育成の課題が明らかになった。
事業運営においては、入所部門（特養・療護園）で新型コロナウイルスの感染拡大が見られ、短期入所事業の縮小や入院者の増減によって稼働実績に影響がみられた。老人デイサービスについては、入所・入院等により安定した利用数の確保ができなかった。
人材確保が困難な状況が継続し、特に障害サービスにおいて、取得可能な加算が算定できない状況が継続している。

令和6年度からの医療・介護・障害の報酬改定に備え、協力医療機関である京都桂病院との連携の場について、さらに強化するための打ち合わせを行った。また、高齢・障害4施設間の連携の中でも、特に西京区内3施設の感染症対策や応援体制について看護職が中心となって情報共有を開始することができた。
(令和5年度 京都桂川園 事業報告書 事業総括)

- ・コロナ感染の影響も受けながら拡大防止に努めた。
- ・台風接近による臨時休業を行う（1日間）
- ・年間を通じては新規入所の調整に努めるが、実績向上には至らなかった。
- ・経営状況は厳しい状況が継続し、介護人材の確保にも苦慮している。。